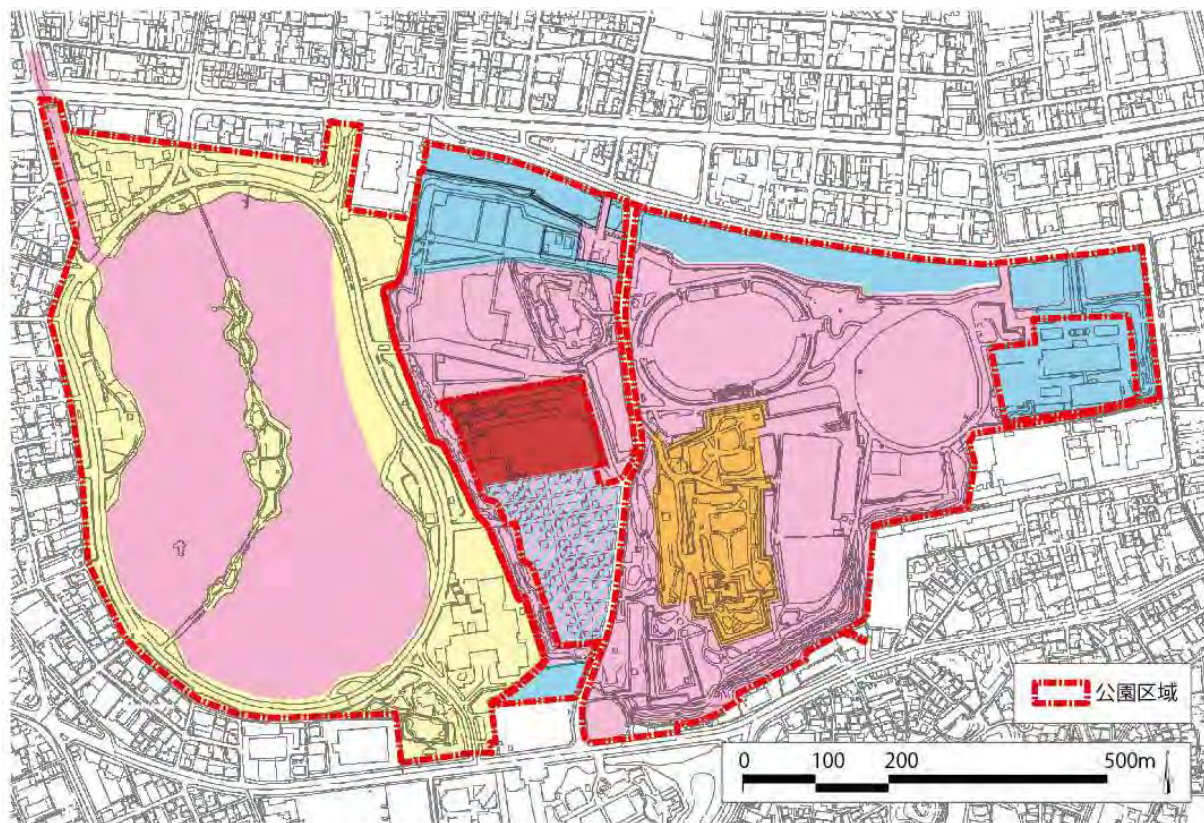
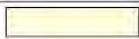
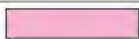
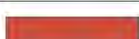


(2) 土地の権原

両公園周辺の土地所有状況については、下図に示すとおりで、財務省、福岡県、福岡市がそれぞれ所有しています。



記 号	所 有 者	都市公園として現在有する 土地使用権原	今後都市公園としていく ために必要となる権原
	福岡県所有	所有権	—
	財務省所有	法に基づく無償借地権※1	—
		—	所有権あるいは借地権
	福岡県・福岡市共有	所有権	—
	福岡市所有	所有権	—
	福岡市・財務省混在地	—	所有権

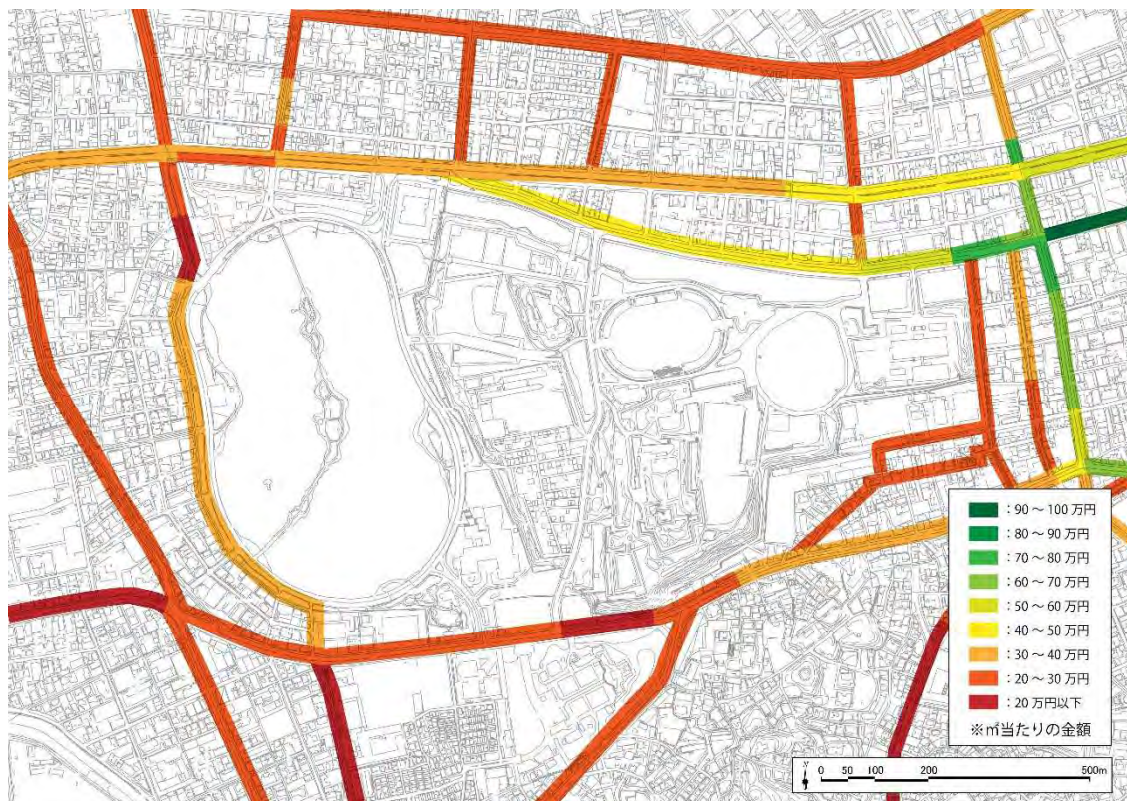
※1…都市公園法附則9項、国有財産法第22条第1項1号に基づく無償借地権

図：両公園の土地所有状況

(3) 周辺の地価

大濠公園は、福岡城の外堀であった範囲を部分的に埋め立てて建設されました。建設に関わる工事費は埋め立てた範囲の西側を住宅地として払い下げることにより償還されています。この住宅地は現在、都心部の中でも緑に近い高級住宅地として利用されています。

ここでは両公園周辺の現在の地価について路線価をもとに整理します。舞鶴公園の東側、より都心の中心部に近い範囲が高価となっている他、両公園に接道する個所では、明治通り沿いと西側の住宅地沿いの路線価が高価になっています。

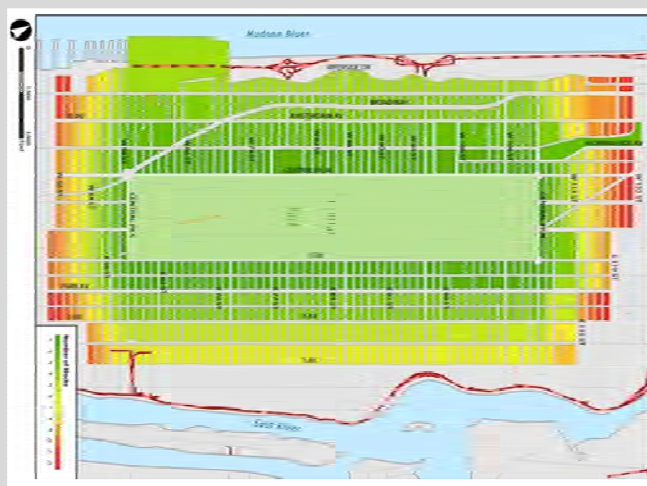


図：周辺の地価図（出典：「全国地価マップ」をもとに作成）

〈参考〉ニューヨーク市のセントラルパーク周辺の地価

ニューヨーク市では、セントラルパークに近いほど地価が高く（右図の緑が濃いほど地価が高い）公園の沿道エリアでは、マンハッタン島の全体平均の 2.12 倍となっています。

このような地価の向上は、セントラルパークがあることによって付加された価値の一つだと考えられています。



(4) 周辺地域のまちづくりの動き

大濠公園・舞鶴公園の周辺地域では、建物の更新時期等を捉えてまちづくりの取組みが進められており、今後、両公園との機能連携や回遊性の向上などが期待されます。

①九州大学六本松キャンパス跡地のまちづくり

九州大学六本松キャンパス跡地においては、緑豊かでゆとりある空間づくりと、地域拠点にふさわしい多様な都市機能の形成に向け、裁判所新庁舎等の建設が進められています。

■まちの将来像

『青陵の街』人がいきいきと交流し理性を育む、四季を感じる、賑わいと良心がふれあう街



図：まちづくりガイドライン（UR策定）



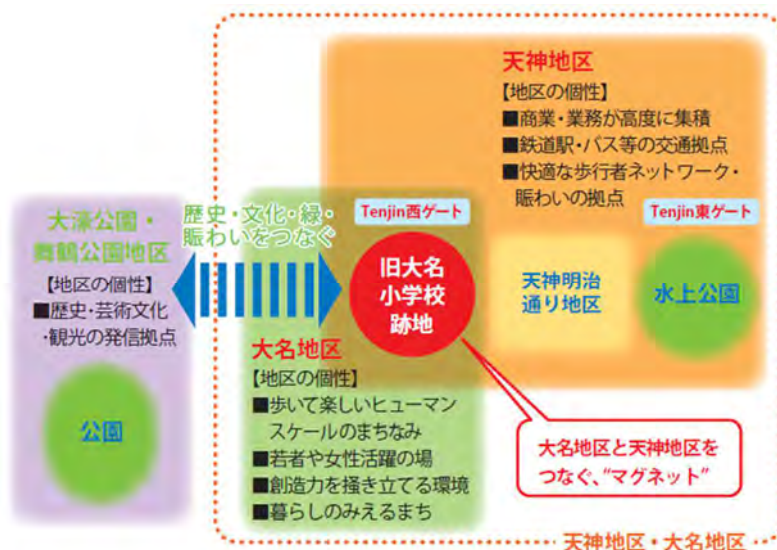
写真：跡地の航空写真（H27.6撮影）

②旧大名小学校跡地のまちづくり

平成26年に閉校した旧大名小学校の跡地においては、「旧大名小学校跡地まちづくり構想」が平成28年3月に策定され、今後のまちづくりの指針となる跡地活用の基本的な考え方がとりまとめられています。

■天神地区・大名地区のまちづくりの方向性

- ◎まちなみや人の流れをつなぎ、都心部の活力や賑わい、国際的な魅力を高める
- ◎天神地区の西のゲートとして、大濠公園・舞鶴公園地区の歴史・文化や緑・賑わいをつなぐ
- ◎跡地では天神地区と連携し、大名地区の個性を引き出す機能・空間を形成し、天神・大名両地区をつなぐ“マグネット”となり、相互に補完し合う



(5) 交通アクセス

①公共交通（鉄道）

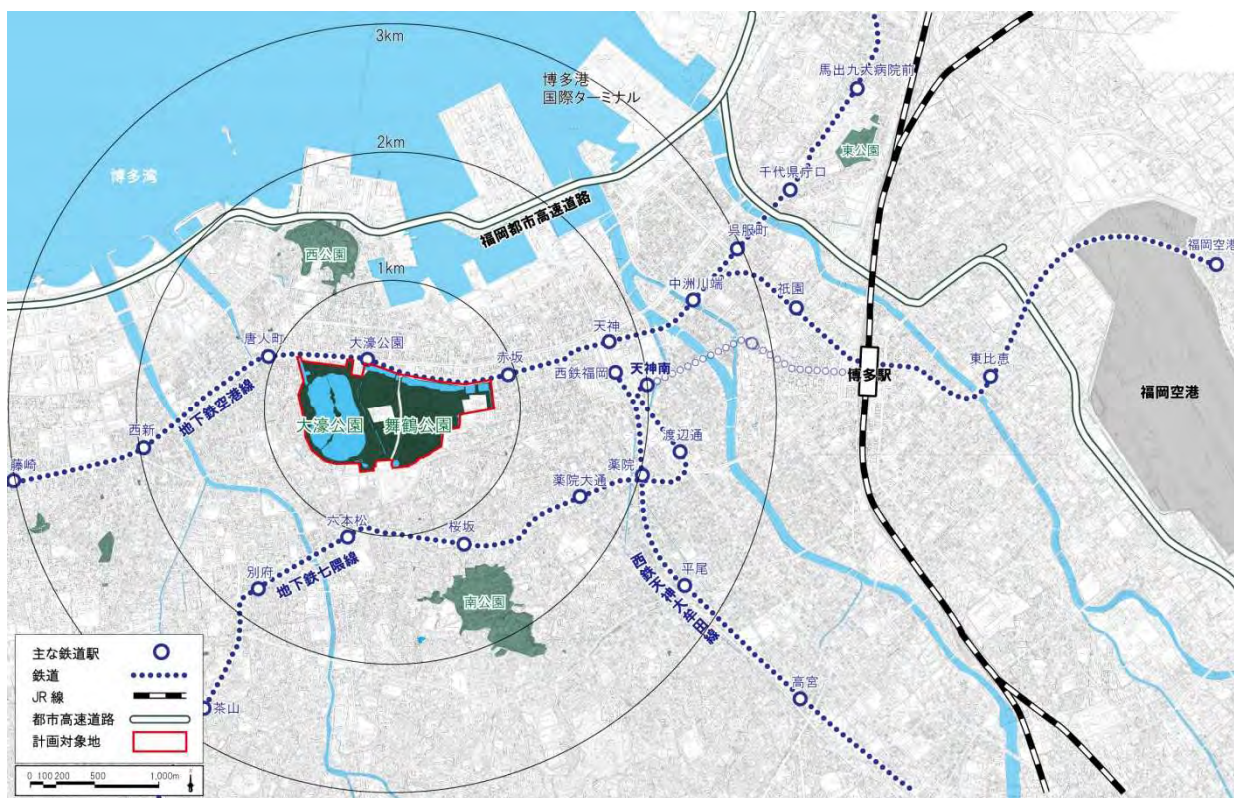
福岡市は、九州・西日本各地からアジア方面への空の玄関、海の玄関の役割を担っています。

陸路としては、九州縦貫自動車道や西九州自動車道、およびこれに接続する福岡都市高速道路、鉄道では博多駅を起点とする新幹線・JR在来線、天神を起点とする私鉄、地下鉄等が整備されています。空路では、天神・博多駅と地下鉄で直結する福岡空港からの国内線・国際線、海路では博多埠頭等を起点とする国内航路・国際航路が開かれています。

大濠公園・舞鶴公園は広域交通拠点でもある都心部に近接しており、公共交通機関を利用した場合、天神・博多駅からは10分以内、博多港・福岡空港からは30分前後と、非常に利便性が高い場所に位置しています。



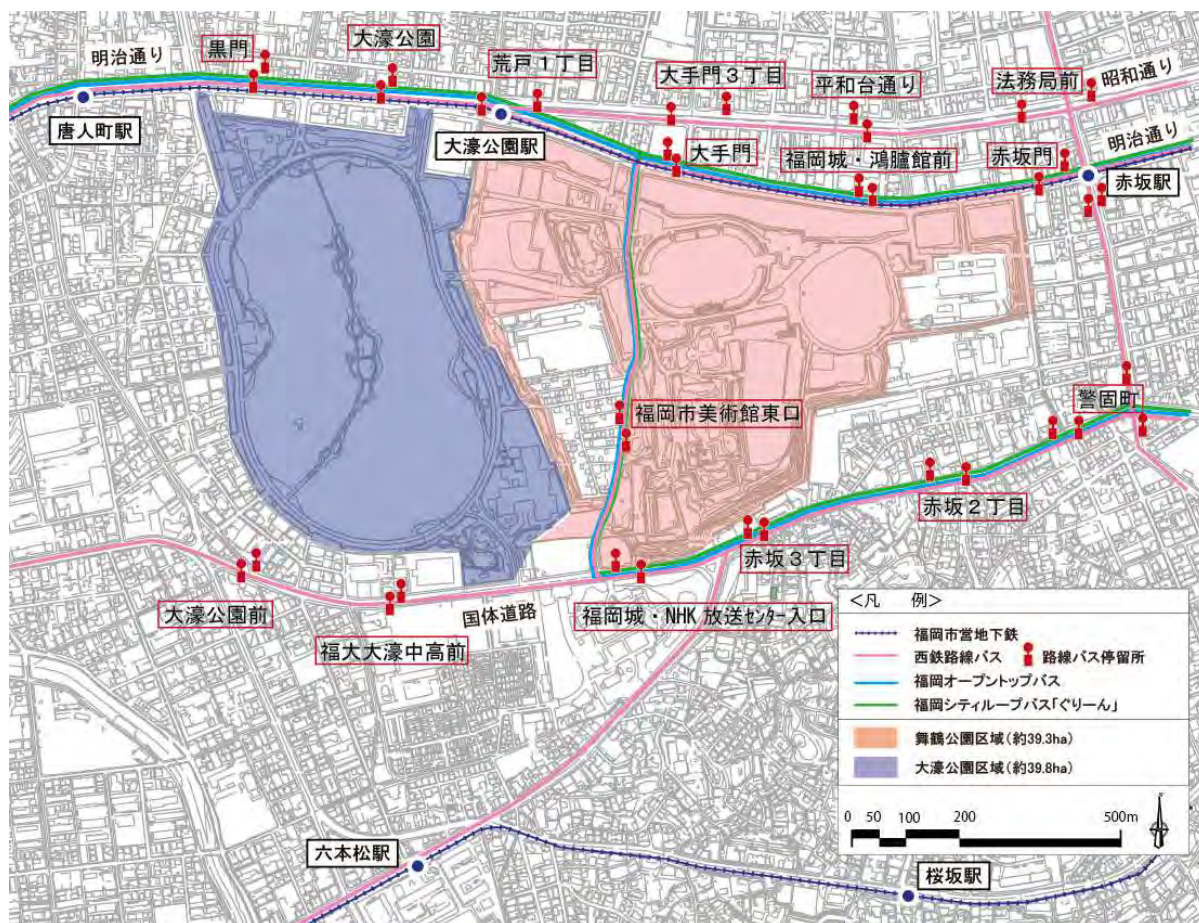
図：広域交通拠点からの所要時間



図：周辺地域の公共交通（鉄道）

②公共交通（バス）

大濠公園・舞鶴公園周辺は、主要な幹線道路である明治通りや国体道路に路線バスの停留所が複数設置され、アクセス性が高く、また、市内の観光バスのルートとしても設定されていることから、観光名所となるポテンシャルも有しています。



図：両公園周辺の公共交通（鉄道、バス）

③駐車場

近年アジアから福岡への観光客が増加していることから、大型観光バスの需要が増加し、福岡市内では大型バス用の駐車場が不足している状況です。

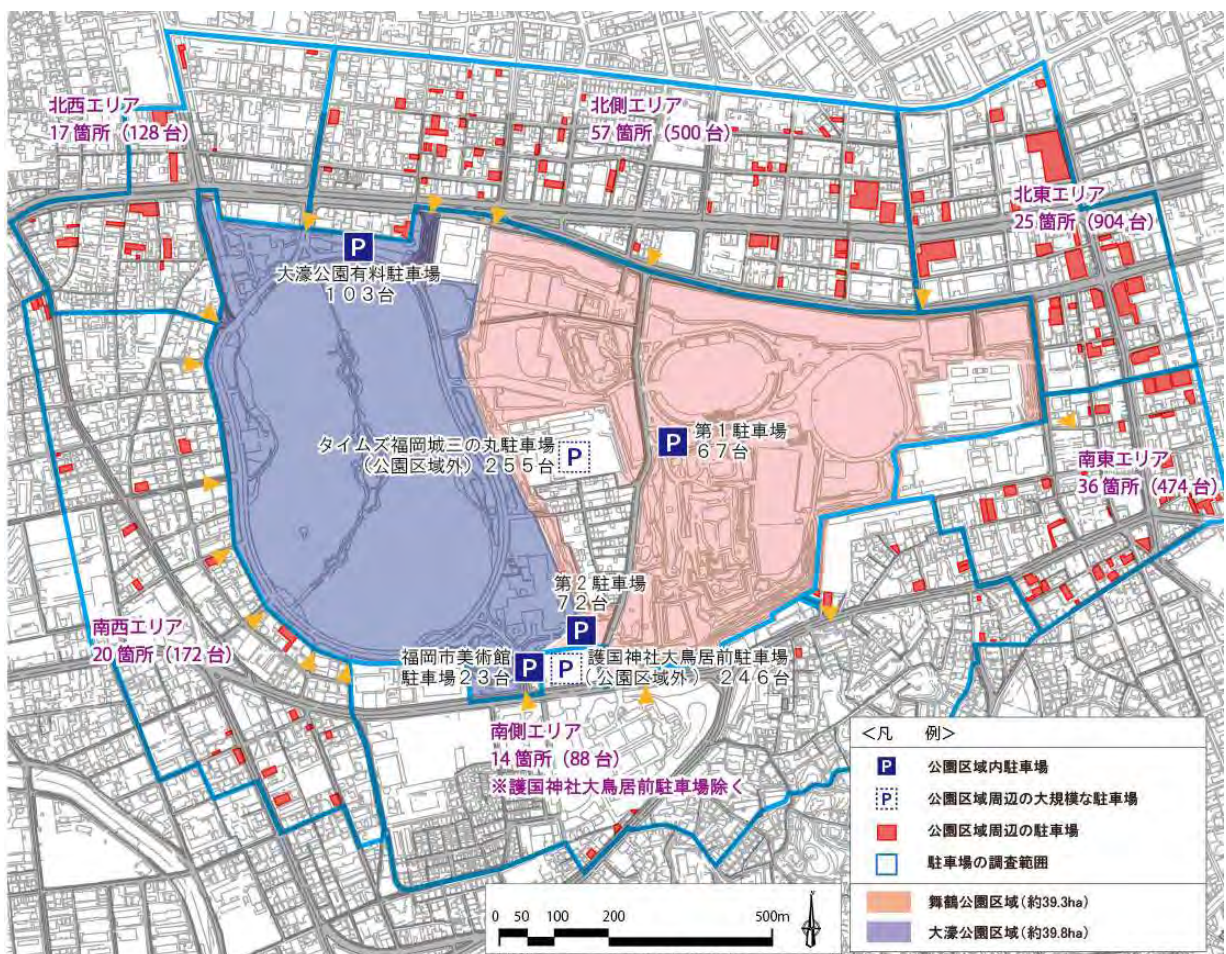
大濠公園には駐車場が2箇所、合計128台（普通車126台、大型バス2台）ありますが、土日祝日は駐車場利用者が多く、営業時間内の大半が満車の状態となっています。一方、舞鶴公園には駐車場が2箇所、合計139台（普通車139台）あります。

また、舞鶴中学校跡地の旧グラウンド部分は、暫定的に平成27年8月から駐車場として活用されており、普通車240台、大型バス15台の駐車が可能となっています。

その他、両公園周辺には、多くの時間貸駐車場があり、特に北側と東側に集中しています。



図：周辺地域の大型バス駐車場

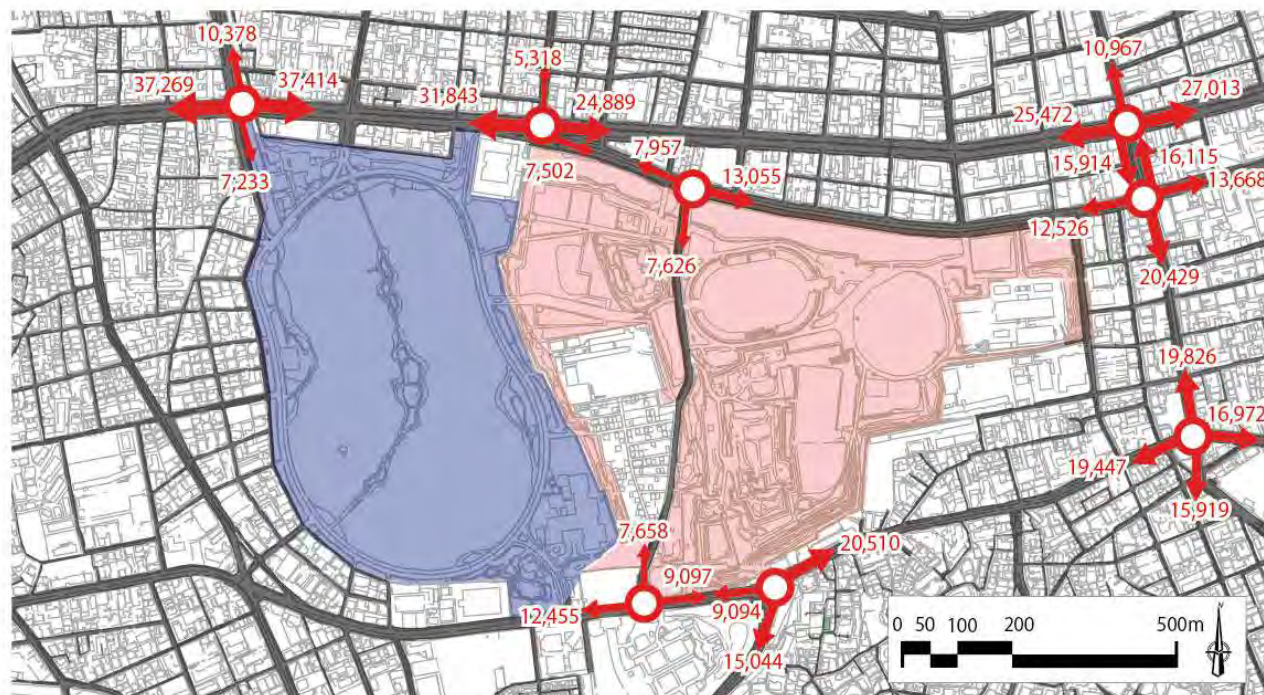


図：両公園周辺の時間貸駐車場

(6) 周辺道路（交通量）

両公園周辺の自動車交通量は下図のとおりです。両公園北側の明治通りや昭和通り、南側の国体道路は、福岡市中心部を東西に貫く幹線道路となっており、多いところでは、12 時間交通量が 37,000 台を超える箇所も見られます。

また、舞鶴公園を南北に貫く、都市計画道路舞鶴公園線の 12 時間交通量は、大手門方面から護国神社方面に向かって 7,626 台、護国神社方面から大手門方面に向かって 7,658 台となっており、明治通りと国体道路の南北を結ぶ道路として重要な役割を担っています。



図：両公園周辺の自動車交通量

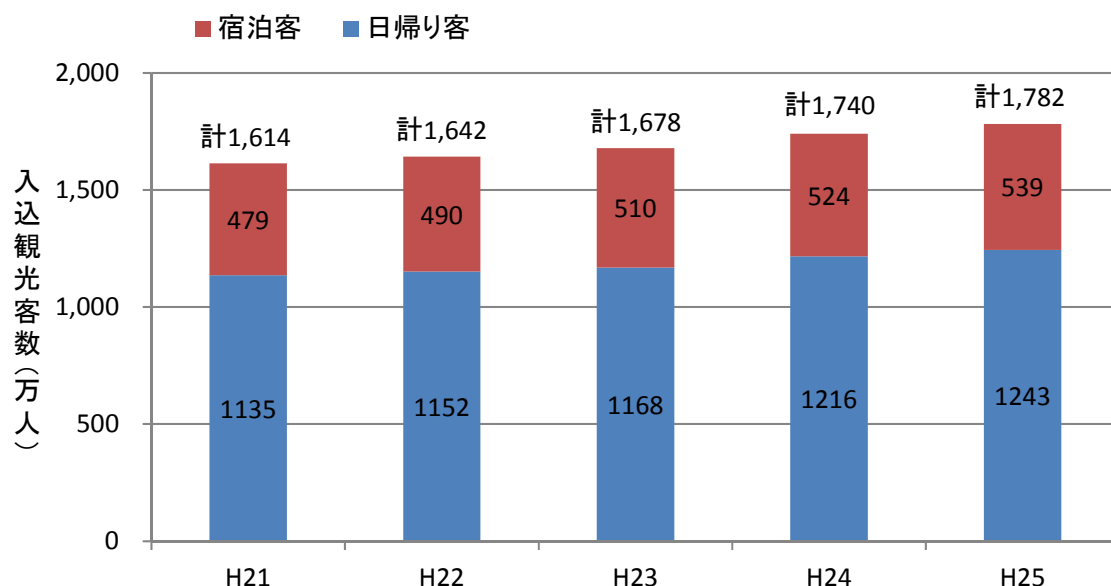
※平成 24～26 年（平日 7：00～19：00）に行われた調査をもとに作成

(7) 観光

①観光客の動向

福岡市の観光統計によると、平成 25 年の福岡市の入込観光客数（推計）は、同年 3 月に策定した「福岡 観光・集客戦略 2013」に基づく福岡城・鴻臚館等の観光活用、大型 M I C E の開催支援や戦略的な誘致の取組みに加え、円高の是正、航空路線の利用拡大等の結果、前年比 2.4% 増の 1,782 万人となり、2 年連続で過去最高を更新しています。

また、このうち宿泊客は、前年比 3.0% 増の 539 万人となりました。



図：日帰り・宿泊別入込観光客数（推計）の推移

（出典：福岡市観光統計）

平成 25 年の福岡空港・博多港からの外国人入国者数（実数）は、前年比 11.0%（8 万人）増の 90 万人となりました。国・地域別では、韓国、台湾、香港からの入国者数が増加しています。さらに平成 26 年 11 月時点では、中国からの入国者の回復、円安、東南アジアへの査証緩和等の影響により、さらに過去最高の 100 万人を超えています。

また、クルーズ船の寄港回数は、中国発着クルーズ船の大幅な回復により、平成 26 年と比べ 225.2%（144 回）増加しています。それに伴い、外国不定期航路（主にクルーズ船）の乗降人員数は約 114 万 9 千人となり、平成 26 年の約 42 万 2 千人から 3 倍近く増加しました。

表：博多港におけるクルーズ船寄港回数の推移（出典：福岡市港湾局資料）（単位：回）

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
外国航路	※63	32	※91	22	※99	※245
内国航路	21	23	21	16	16	14
計	84	55	112	38	115	※259

注記）表中の※印は、日本一の年。

②観光客の立ち寄り場所

九州新幹線鹿児島ルート¹の全線開通やクルーズ船による寄港回数の増加などにより、九州における集客力はさらに高まっています。特に、天神・博多の二大商業地域には、九州だけでなくアジアからも多くの人が観光や買い物などに訪れています。

自然や歴史を身近に感じることのできる大濠公園・舞鶴公園一帯は、福岡市の魅力の一つとして、国内外から訪れた観光客の主な立ち寄り場所の1つとなっていますが、訪れる割合は非常に少ない状況です。



図：周辺地域における国内観光客の立ち寄り場所

(出典：福岡市観光客動態調査をもとに編集)



図：周辺地域における外国人観光客の立ち寄り場所

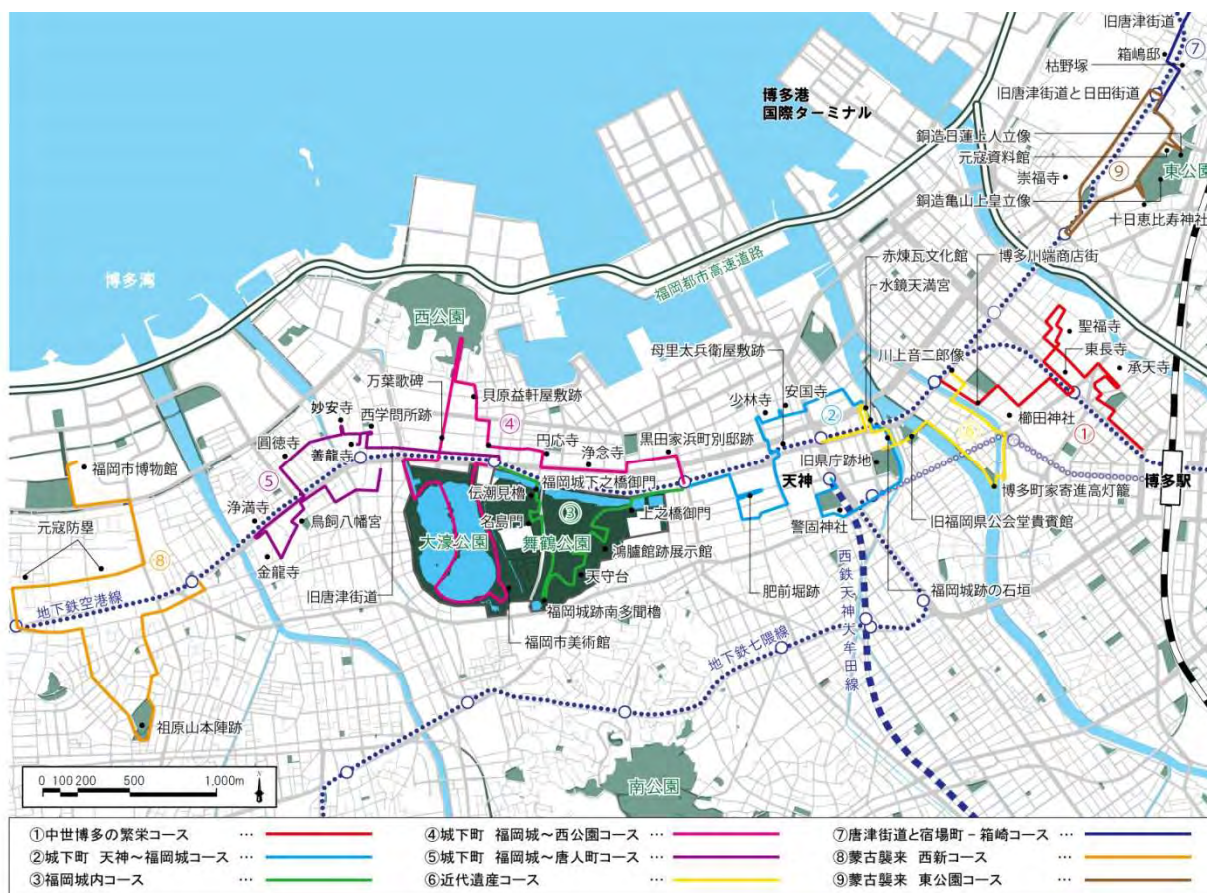
(出典：福岡市観光客動態調査をもとに編集)

③歴史散策コース

福岡市のホームページでは、公開されている文化財を中心に、全 16 のまち歩きコースが設定されており、周辺地域の 9 つのコースを下図に整理しました。

内容は、元寇、日宋貿易、福岡城と城下町、唐津街道、近代遺産等の 5 テーマで展開され、関連する場所を巡るものとなっています。コースは主に唐津街道沿いを中心に展開されており、概ね 3 km 以内で歩いて周遊できる程度です。

9 つのコースのうち 4 つに「福岡城」の名称がつけられ、大濠公園・舞鶴公園周辺を巡るものとなっており、福岡の歴史散策の中でも重要度が高くなっています。また、鴻臚館跡については、「③福岡城内コース」の見所の 1 つとして位置づけられています。



図：周辺地域における歴史・文化遺産の散策コース
(出典：福岡市 HP「福岡歴史なび」を基に作成)

2-4. 施設の現況

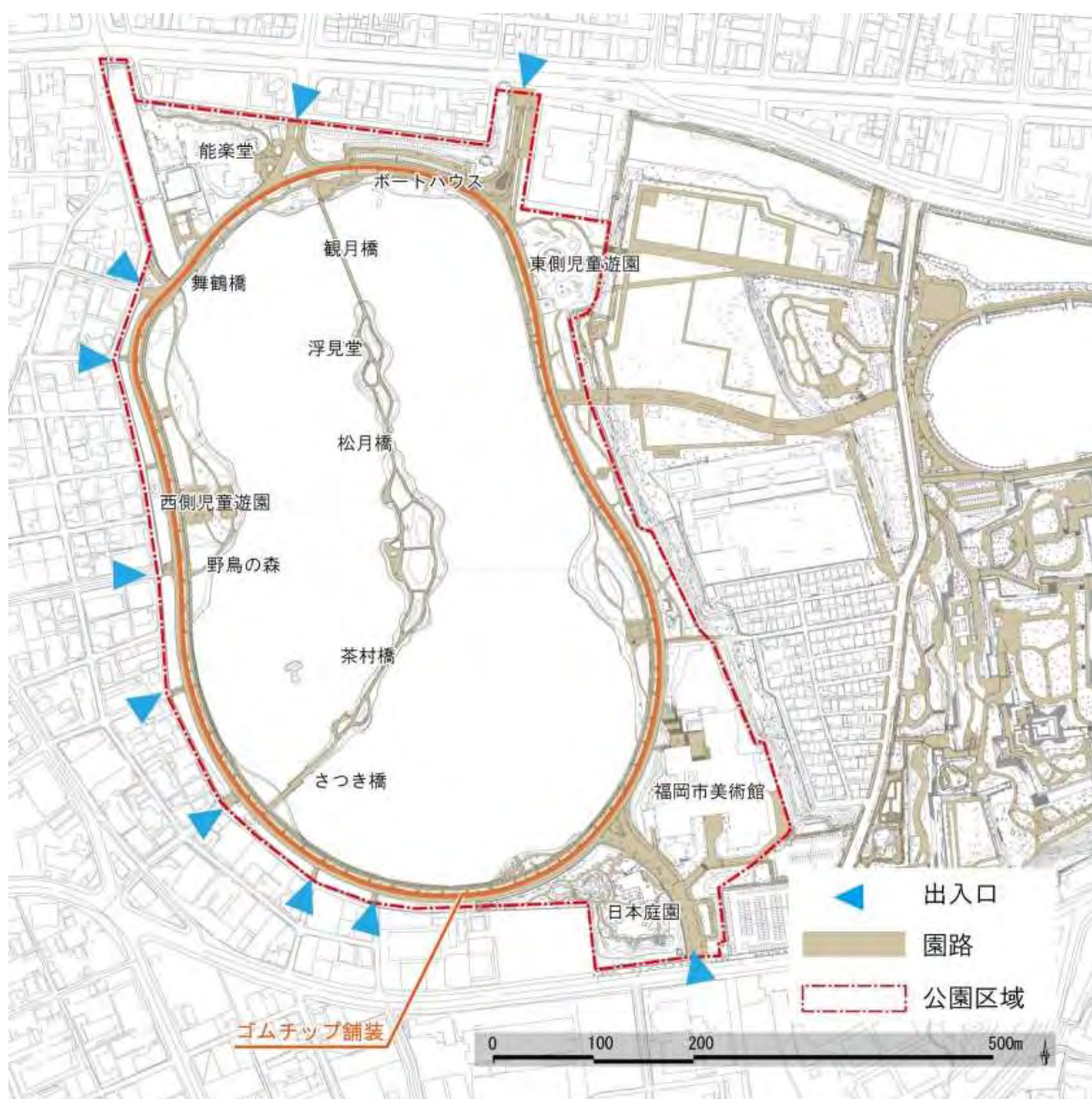
(1) 園路

①大濠公園

大濠公園では、池を周回する園路が約2kmに渡って整備されています。幅員は14.5mあり、その中で散策路3.0m、植栽帯2.5m、内周園路4.5m、外周園路4.5mに区分されています。散策路にはレンガ舗装、ジョギング・ウォーキングなどの利用者向けの内周園路にはゴムチップ舗装、自転車利用向けの外周園路にはアスファルト舗装と、利用者の目的に応じた舗装材が適用されています。また、4つの橋で結ばれた中之島には、島の形状に沿った土系舗装の園路が整備されています。



周回園路のゴムチップ舗装



図：大濠公園の園路

②舞鶴公園

舞鶴公園では、福岡城跡・鴻臚館跡の文化財や四季の花々を巡れるよう園路が整備されていますが、高低差のある地形に沿って階段や坂道が整備されているため、起伏のある園路となっています。また、公園を南北に貫く都市計画道路舞鶴公園線が通っているため、公園利用者の動線確保のための横断歩道が3ヶ所設置されています。

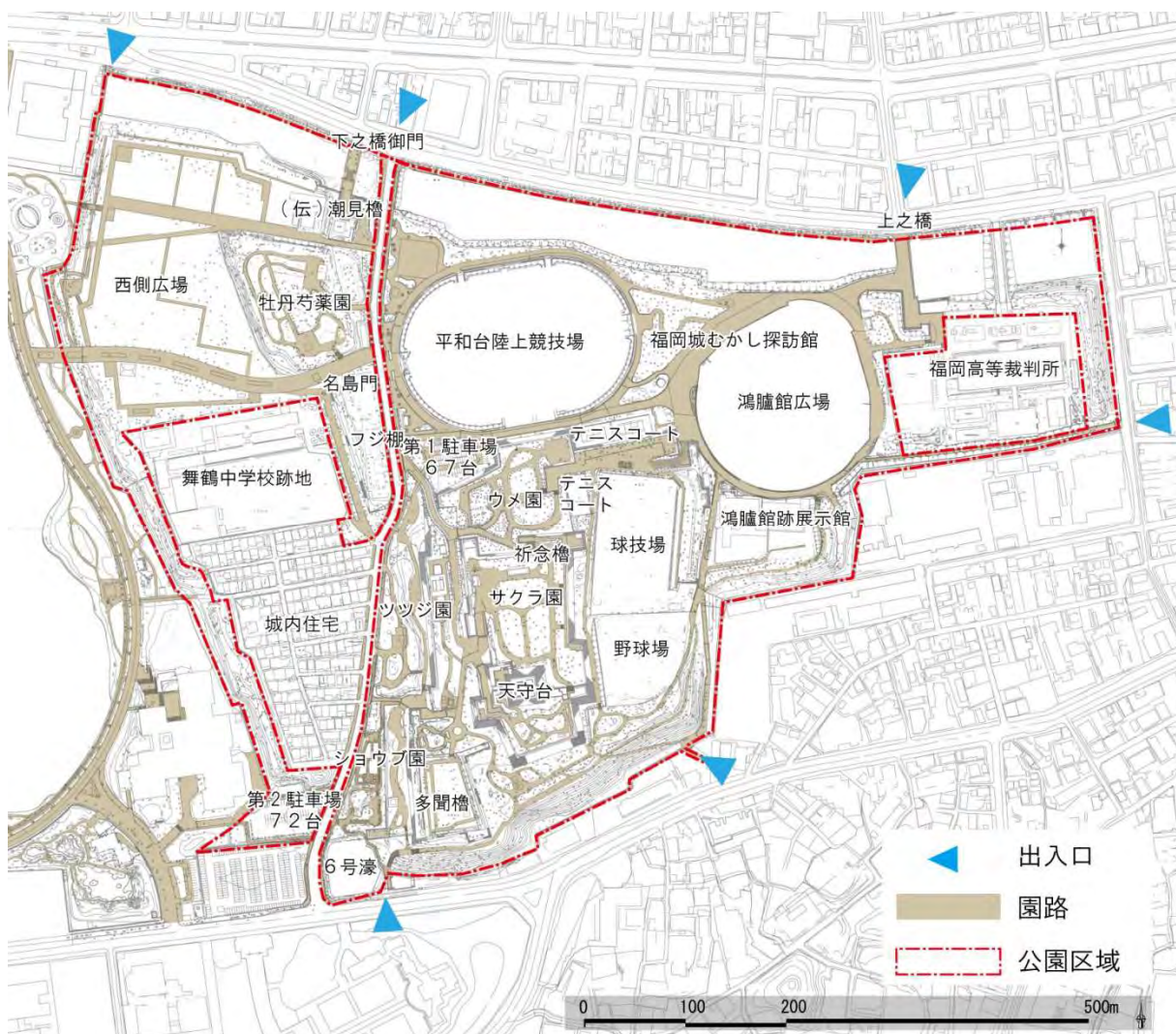
園路舗装は主に、土や石、アスファルトですが、所々に樹木による根上がりが見られ、舗装面の変形が進んでいます。バリアフリーの面でも高低差の大きな本丸・二ノ丸は利用しづらい現状となっています。



二ノ丸の石畳



舞鶴公園線の横断歩道



図：舞鶴公園の園路

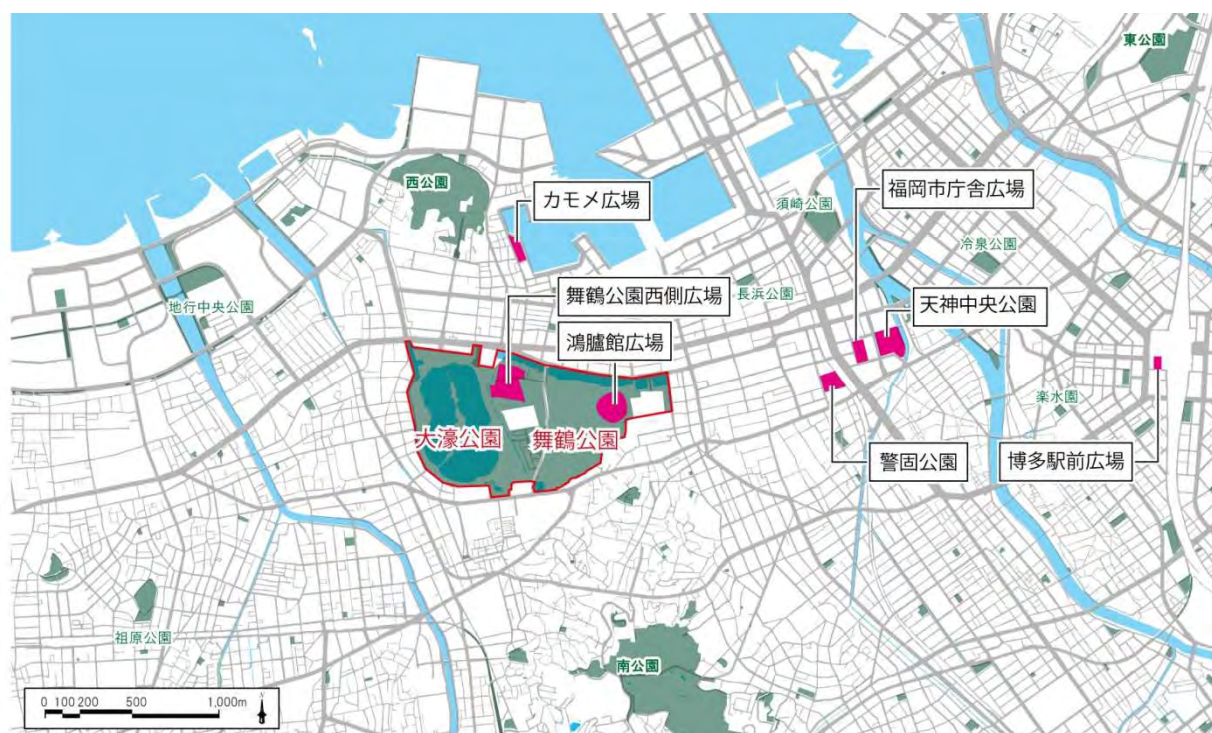
(2) イベント広場

① 周辺地域のイベント広場

現在福岡市では、天神中央公園や福岡市庁舎広場（ふれあい広場）、警固公園、JR 博多駅前広場が代表的な都心部の広場として市民に認知されています。これらの広場では、「博多どんたく港まつり」などの福岡を代表するイベントのステージとしての活用や、全国で増えている各国・各都市の食のイベント、県外の地方自治体による観光PRイベントなど、様々な集客イベントなどに活用されています。

また、他都市では、札幌市の大通公園や東京都の代々木公園、北九州市の勝山公園など公園内の大規模広場で、年間を通して食や音楽、スポーツ等に関連したイベントが開催されています。

しかしながら、福岡の都心部でのイベント実施は、場所や面積の制限などで、大規模なイベントを実施し難い状況となっています。

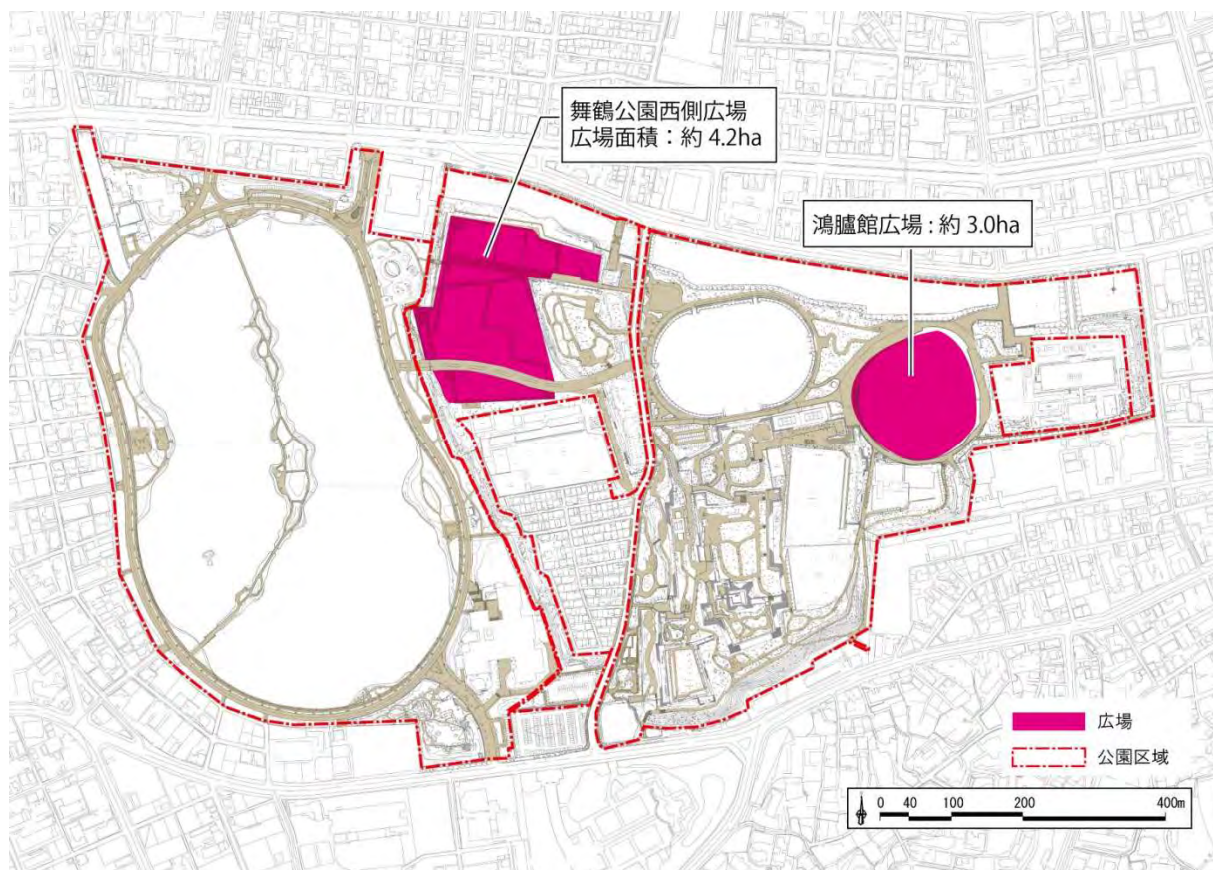


図：周辺地域における大規模イベントに利用される主な広場

②両公園のイベント広場

大濠公園・舞鶴公園では、多くの人が集い、憩えるオープンスペースとしての広場は、舞鶴公園の西側広場及び平成 28 年 3 月に供用した鴻臚館広場の 2 箇所となっています。

西側広場は、大濠公園に続く園路の南北にあり、休日には多くの親子連れなどで賑わい、軽スポーツや休憩場所として活用されているほか、イベントでも使われています。



図：両公園のイベント広場



舞鶴公園西側広場



鴻臚館広場

(3) 文化財関連施設

① 周辺地域の文化財

古くから福岡市は、博多湾を天然の良港とし、玄界灘を挟んで中国大陆・朝鮮半島と向かい合う地理的条件から、対外交流の門戸として栄え、日本の歴史と文化形成に大きな役割を果たしてきました。その歴史を示すものとして、8世紀から400年間にわたり外交・貿易の拠点となった鴻臚館をはじめ、12世紀の日宋貿易により貿易の拠点が鴻臚館から博多に移り、繁栄したことを示す博多遺跡群、著名な僧侶が博多に宋文化を伝えたことにより建立された聖福寺などの禅僧寺院などがあります。

また、史跡のほか、伝統技術や民俗芸能など有形・無形の文化財も数多く残されています。博多の総鎮守として崇敬される櫛田神社では、毎年7月に奉納される祇園山笠行事が博多の夏の風物詩となっています。



鴻臚館跡（国史跡）



住吉神社本殿（国有形文化財）



博多遺跡群



図：周辺地域の指定文化財

②歴史的建造物（門・櫓）



図：両公園の歴史的建造物

③歴史ガイドンス施設



図：両公園の歴史ガイドンス施設

（４）芸術文化施設

①周辺地域の芸術文化施設

福岡市中心部の芸術文化施設は、以下のとおり博多区に多く位置しており、天神地区には少ないことがわかります。その中でも、大濠公園には、福岡市美術館や能楽堂、日本庭園といった、福岡市の芸術や日本文化を伝える場所として多くの人が訪れています。

また、福岡市のホールやイベントスペースは、市民文化の殿堂として整備された市民会館、常設の劇場として開設された博多座、高度な専門性を持った音楽ホールを有するアクロス福岡シンフォニーホール、その他商業施設内のフリースペースなど、市民文化の表現と鑑賞の場として、官民により多くのホール・イベントスペースが整備されています。



図：周辺地域の芸術文化施設

（出典：2015 たいたいBOOK）の以下の項目

「美術館、博物館・資料館・展示室、図書館、MICE コンベンション施設【1000人以上】、庭園、舞台」

②両公園の芸術文化施設



図：両公園の芸術文化施設

（５）運動施設及び遊戯施設

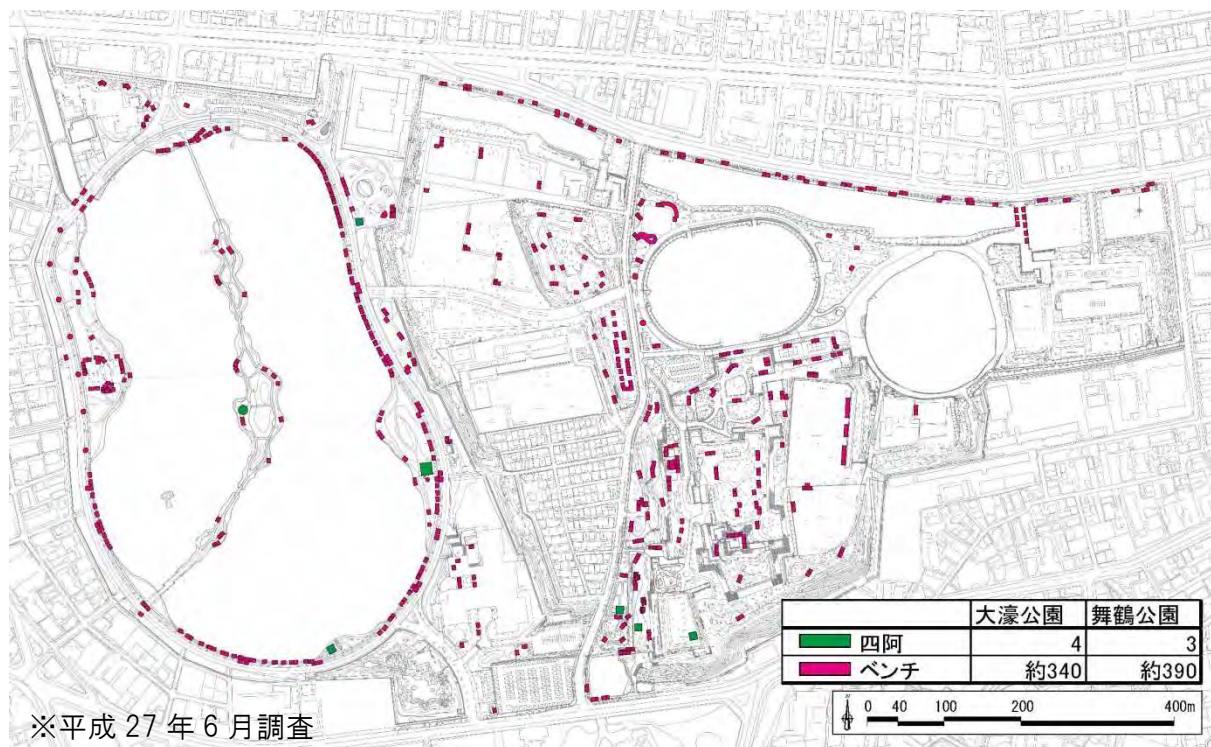


図：両公園の運動施設及び遊戯施設

(6) 休養施設（四阿、ベンチ）

両公園における四阿とベンチの設置状況は以下のとおりです。

大濠公園では、池の周辺に集中しており、周回園路を散策する途中で水面を見ながら休憩できるような配置されています。一方で、舞鶴公園では、本丸・二ノ丸に集中しており、城郭を散策しながら休憩できるような配置されています。



図：休養施設の設置状況

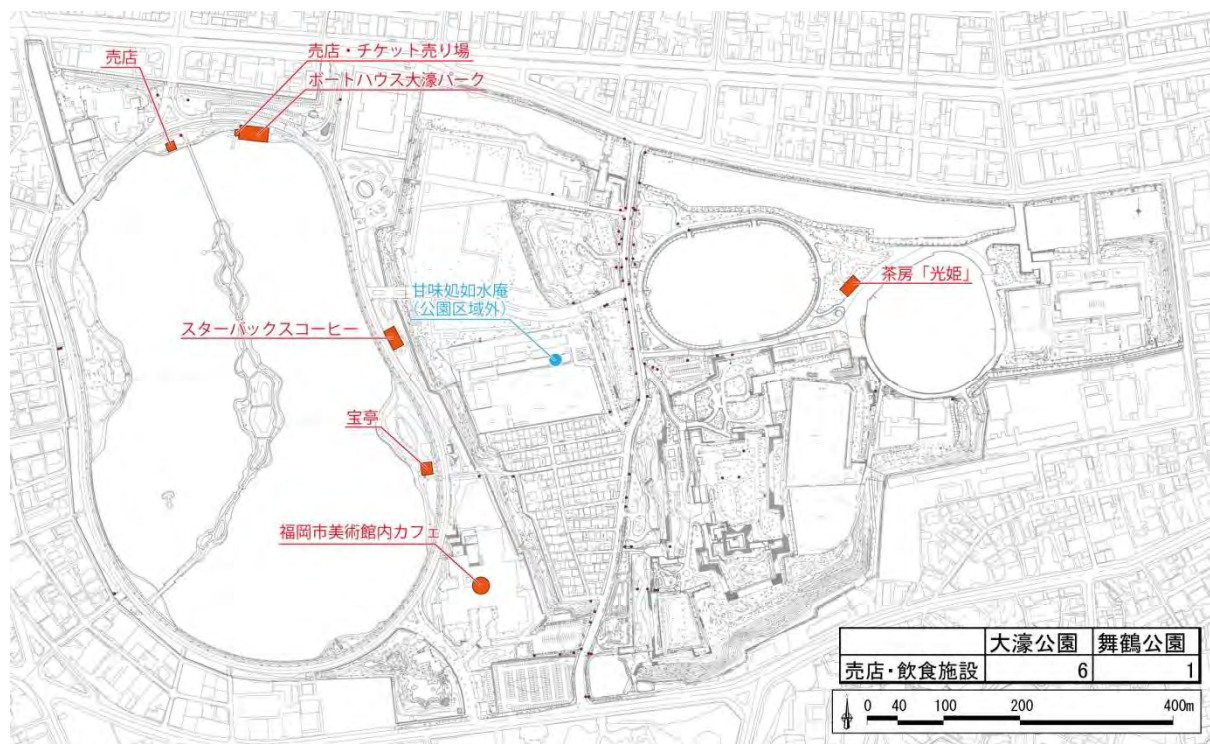


写真：両公園の休養施設

(7) 便益施設

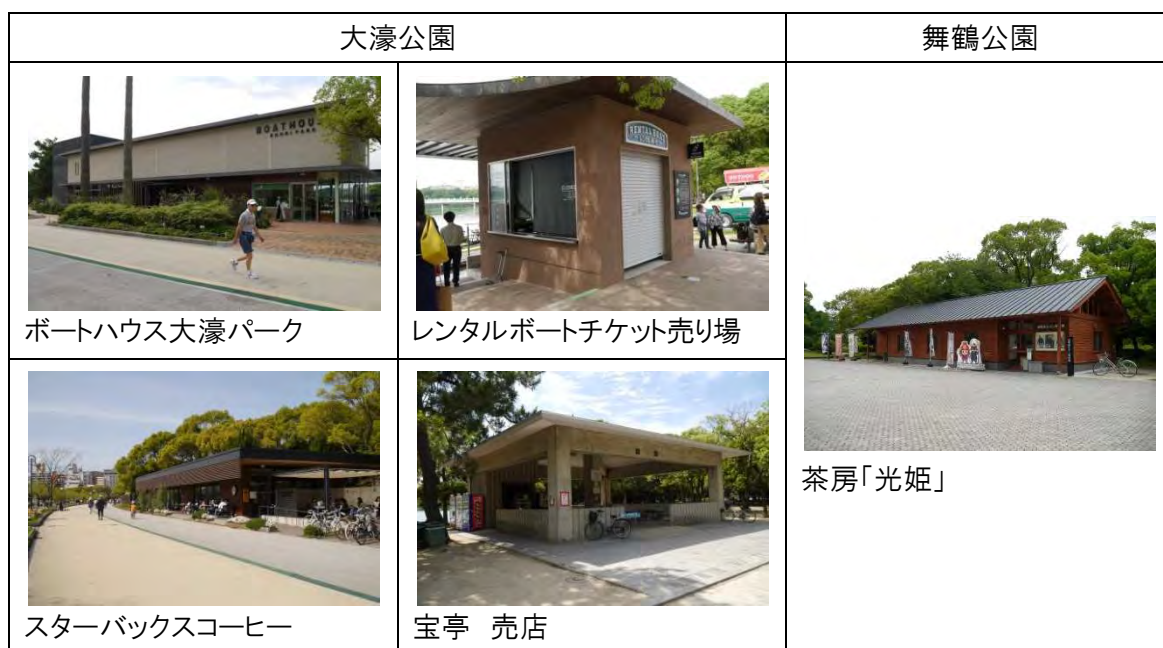
①売店・飲食施設

両公園における売店、飲食施設の設置状況は以下のとおりです。舞鶴公園には、福岡城むかし探訪館に併設して営業している飲食施設が1箇所ありますが、多くは、大濠公園に集中しています。なお、現在は公園区域外ではありますが、三の丸スクエアの館内では、甘味処如水庵が営業しています。



※平成 27 年 6 月調査

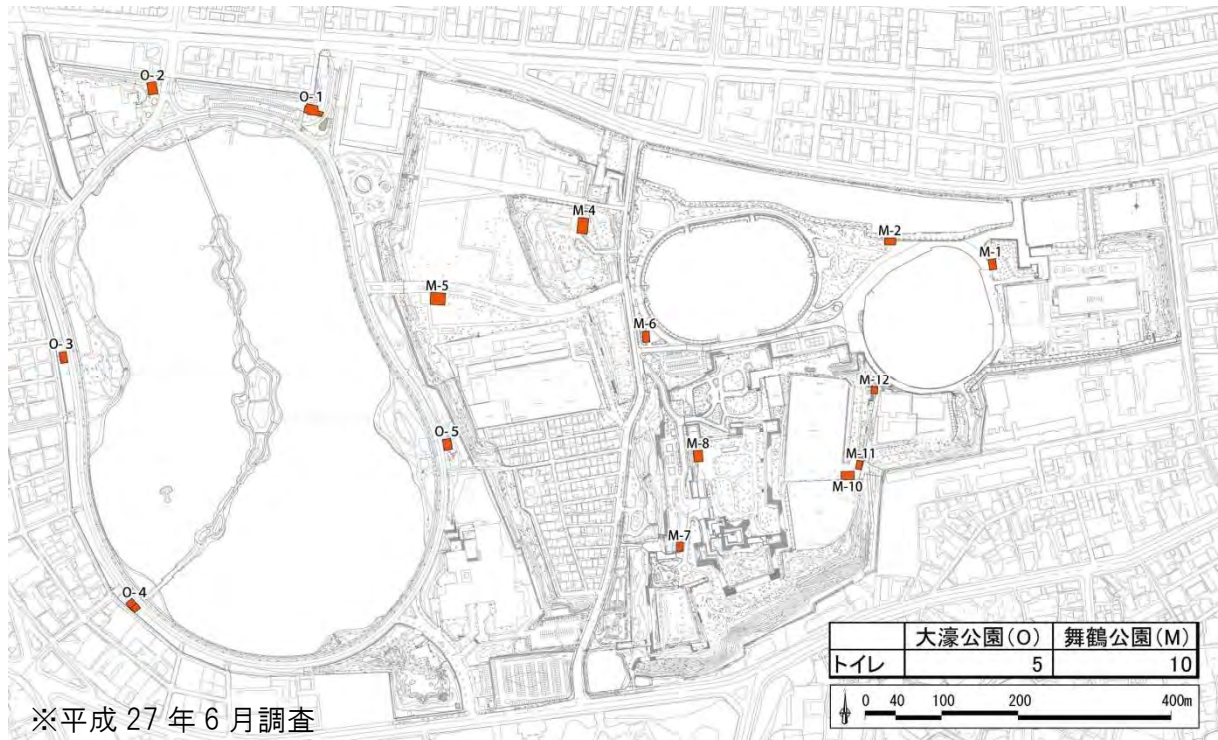
図：売店・飲食施設の設置状況



写真：両公園の売店、飲食施設

②トイレ

両公園におけるトイレの設置状況は以下のとおりです。舞鶴公園は、大濠公園の倍の数のトイレがありますが多目的トイレは限られています。また、なまこ壁のデザインのものが多くみられますが、福岡城跡の歴史的建造物の中で、なまこ壁が用いられたものは現在見つかりません。



図：トイレの設置状況（施設内トイレ除く）

表：両公園のトイレの穴数

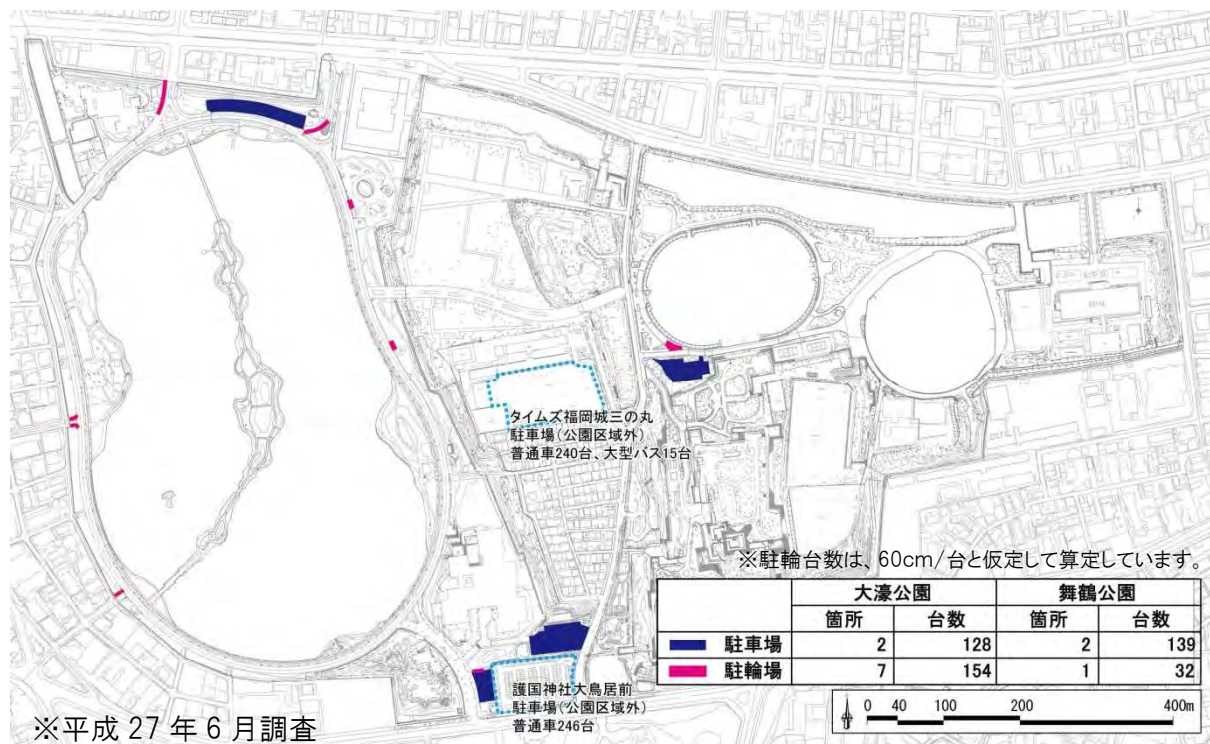
	プロット番号	穴数				
		男子		女子	多目的	計
		小	大	大		
大濠公園	O-1	3	1	2	1	7
	O-2	3	2	6	1	12
	O-3	2	1	2	1	6
	O-4	2	1	2	1	6
	O-5	3	2	3	1	9
計(大濠公園)		13	7	15	5	40
舞鶴公園	M-1	6	2	4	1	13
	M-2	3	1	2	—	6
	M-4	3	1	2	—	6
	M-5	3	2	3	1	9
	M-6	6	2	4	1	13
	M-7	3	1	2	—	6
	M-8	6	2	4	1	13
	M-10	4	1	3	—	8
	M-11	3	1	2	—	6
M-12	2	—	2	—	4	
計(舞鶴公園)		39	13	28	4	84
合計		52	20	43	9	124



写真：両公園のトイレ

③駐車場・駐輪場

両公園における駐車場、駐輪場の設置状況は以下のとおりです。大濠公園は、舞鶴公園に比べ多くの駐輪場が設置されていますが、通勤・通学者の利用が目立ちます。また、舞鶴公園の駐輪場は、平和台陸上競技場の利用者が主に利用しています。



図：駐車場・駐輪場の設置状況

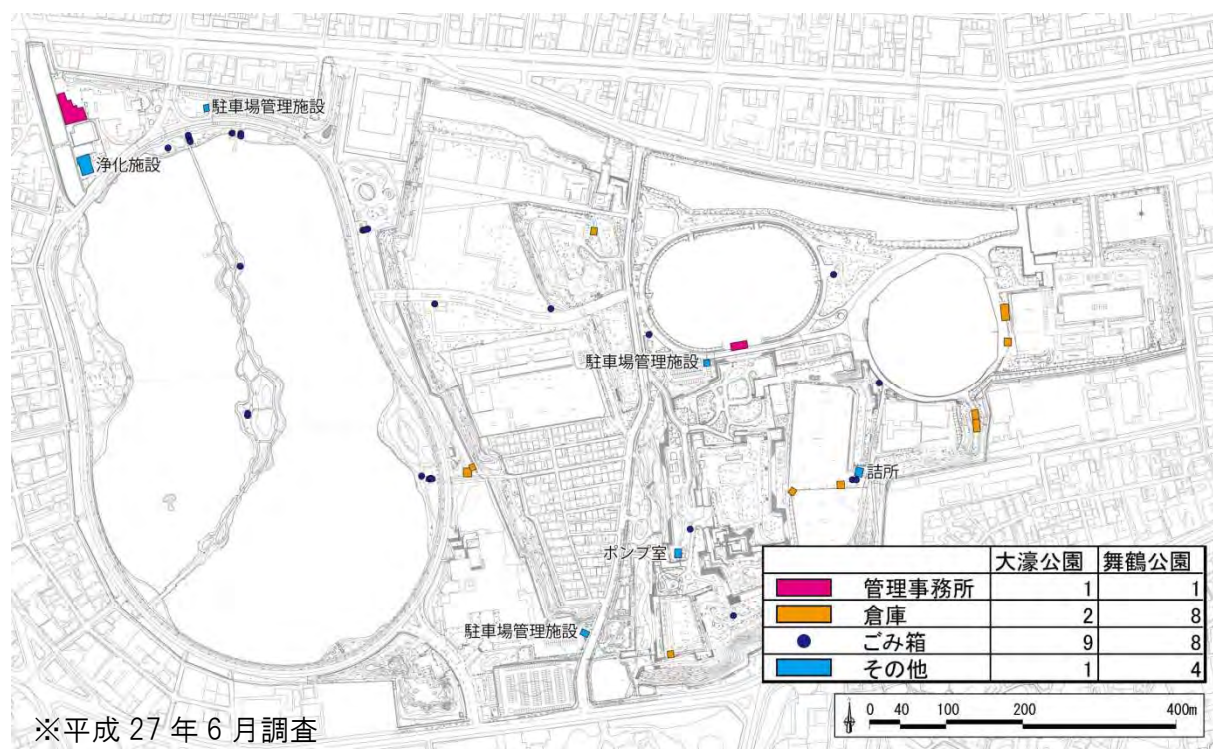


写真：両公園の駐車場・駐輪場

(8) 管理施設

①管理事務所・倉庫・ごみ箱等

両公園における管理事務所、倉庫、ごみ箱等の管理施設の設置状況は以下のとおりです。



図：管理事務所・倉庫・ごみ箱・その他の設置状況

大濠公園		舞鶴公園	
			
大濠公園管理事務所	駐車場管理施設	舞鶴公園管理事務所	駐車場管理施設
			
浄化施設	倉庫	倉庫	倉庫
			
ごみ箱	ごみ箱	ごみ箱	ごみ箱

写真：両公園の管理事務所・倉庫

②照明施設

両公園における照明施設の設置状況は以下のとおりです。全体の傾向として、様々なデザインの照明が設置されています。特徴としては、夜間も公園利用者が多い大濠公園では、庭園灯が多く設置されており、福岡城跡の史跡が残る舞鶴公園では、夜間照明が点在しており、暗いですが、史跡を照らす演出照明も設置されています。



図：照明施設の設置状況



写真：両公園の照明施設